

1. 目 的

サッカーは世界で最も人気のあるスポーツであり、学校体育の教材としても、長く親しまれ様々な長所を持つチームゲームです。JFA では昨年 5 月に「グラスルーツ宣言」を行いました。“Football for all” サッカーを、もっとみんなのものへ。だれもが、いつでも、どこでもサッカーに楽しめる環境をより積極的につくっていききたいと我々は考えています。

その中で、サッカーが小学校体育の授業で取り上げられ、ゴールが置かれ、サッカーに触れてもらう機会があることは、とてもありがたいことであり体育の教材としてより有効に活用していただきたいのですが、指導される先生ご自身にサッカーや、スポーツ経験が乏しかったり、クラス内で子どもたちに技能差があったりするような場合、「サッカー授業の難しさを感じる」という声もよく聞かれます。

小学校では専科として体育を行うわけではなく、多くの教科を担当する中での教材研究には大変なご苦労があることもお聞きしています。そこで、少しでも体育のサッカー授業にお役に立てればと思い、巡回指導とは異なる概念で、先生方ご自身が授業をするためのサポートとして、教本の作成と研修機会の創出を主にした事業内容を考案しました。

2. 内 容

体育授業の枠組み（人数、場所、時間数）の中で、6～8回の授業の展開を年代ごとに具体的に示しています。

- (1) 効果的に効率よく授業を進めるためのポイント
- (2) 発育に合わせた課題の設定と目の前の子ども達に合わせた発展、声かけのポイント
- (3) 評価の観点
- (4) 1時間を組み立てるためのポイント
- (5) 学年の単元を構成する考え方

ゴールを想定した、逆算の考えからクラス全体でサッカーの授業を毎時間楽しみ、小さな学びを重ねていただければと思います。先生も子どもたちも、生涯にわたり、サッカー、そしてスポーツを楽しみ、応援していただけるようになることを願っています。

3. これまでの取り組み（経緯）

学習指導要領に沿った形で検討し、サッカーの指導が苦手とされる小学校の先生方への支援に重きを置いた、効率的かつ効果的に指導できる教材を作成しました。

実際に作り上げた教材を用いて、体育を専門としない小学校の女性の先生を中心に研究授業を実施していただき、児童の反応や先生方の気づきを参考に、改良を加え実際に先生方を対象とした小学校での校内研修会も開催しました。

文部科学省とも確認をとりながら進めており、今後の研修会に申請に基づき後援をいただけることになっています。

4. 教本の作成

教員研修会用の資料作成と、現場で活用できる年代毎の発育に即した構成、各単元および各時限のプログラムモデルを提示した教材を、書籍として作成しました。東洋館出版より 2014 年 6 月に出版されました。

5. 研修会展開

先生方ご自身に、サッカーの楽しさを体感していただき、これならばできそうだと実感していただきたい、さらにその楽しさを児童にも伝えていただきたいという願いから、実技と講義から成る研修会を実施しています（実技 60 分+講義 30 分が基本）。

JFA からのプロモーション（47FA、教育委員会等）を実施し、要望に応じて、全国で展開中です。昨年 3 月末に 47FA より小学校教員、あるいは小学校教育に経験、理解のある方を中心として、インストラクター研修会を行いました。今後、各都道府県にて小学校単位での研修会や教員研修会にテーマとして取り上げていただき、また、フォローアップをすることで、この取り組みを推進していきたいと考えています。

前回受講生には、昨年の自地域での活動を、全国のみなさんと共有していただき新規インストラクターと一緒に、活動回数、活動地域をより広げていただければと思います。

47FA におかれましては、この取り組みをご理解いただき、ぜひとも展開にご協力いただければと思います。